

例 言

- 1 この統計年報は、統計法に基づく港湾調査規則（昭和26年3月10日運輸省令第13号）により、横浜港と内外諸港との間に出入りした船舶、貨物及び施設の利用状況を調査し、その結果を収録したものです。
- 2 調査区域は港湾区域内とし、この区域内に出入りした船舶及び貨物を調査しました。
- 3 入港船舶は、積載貨物の有無にかかわらず、総トン数5トン以上のものについて調査しました。
- 4 海上出入貨物は、船舶及びはしけにより出入りしたものは、全て調査対象としました。
- 5 貨物数量は全てトン単位として、原則としてフレートンによります。すなわち容積は1.133m³（40立方フィート）、重量は1,000kgをもって1トンとし、容積又は重量のいずれか大なる方をもって計算することを原則とします。ただし、慣例上上記の原則によらない貨物は慣習によります。
- 6 この統計で外国貿易（外貿）とは、横浜港で船積みされ、そのまま外国へ輸送されたもの、及び外国で船積みされ、そのまま横浜港に輸送されたものをいい、国内の他の港湾で積み替えられた貨物は内国貿易（内貿）としました。
- 7 輸出入の相手港（国）は、その貨物の最後の船卸港又は最初の船積港によります。
- 8 品種分類は、港湾統計に用いる品種分類表によります。
- 9 表中の「染料等化学工業品」は、「染料・塗料・合成樹脂その他化学工業品」の略です。
- 10 統計表のうち「-」は、皆無を示します。また、千、万単位は四捨五入を原則とし、必要な場合は例外処理を行いました。それぞれの数値は端数処理のため、合計値等が若干合わない場合があります。
- 11 コンテナ関連用語等
 - (1) コンテナ船の分類
フルコンテナ船・オールセルガイド構造の船舶
セミコンテナ船・一部セルガイド構造を有する船舶、
セルガイド構造を有しないオールコンテナ船、RO-RO船
 - (2) コンテナ個数 本文中のコンテナ個数は「20型換算個数」にて表記
20型換算個数(TEU:Twenty-foot Equivalent Unit)
換算はコンテナの長さを20フィートで割って計算
例) 12フィート 0.6個、20フィート 1.0個、40フィート 2.0個、45フィート 2.25個
 - (3) コンテナ比率 コンテナ貨物量／総貨物量
 - (4) コンテナ化率 コンテナ貨物量／定期航路貨物量

目 次

横浜港の港勢	1
1 入港船舶	
年次月別入港船舶数	8
外航船主要航路別入港船舶数 / 船種別入港船舶数	9
外航船船種・トン階別入港船舶数 / 内航船船種・トン階別入港船舶数	10
外航船定期不定期・船種別入港船舶数	
外航船国籍別入港船舶数（隻数上位 15 か国）	11
年次月別船舶乗降人員	12
2 海上出入貨物	
海上出入貨物年次月別取扱量	13
輸出貨物主要品種・主要国別取扱量 / 輸入貨物主要品種・主要国別取扱量	15
コンテナ輸出貨物主要品種・主要国別取扱量	
コンテナ輸入貨物主要品種・主要国別取扱量	16
移出貨物主要品種・主要港別取扱量 / 移入貨物主要品種・主要港別取扱量	17
品種別貨物取扱量	18
3 コンテナ取扱状況	
コンテナ個数年次月別取扱量	19
内貿コンテナ貨物・個数年次月別取扱量	
内貿コンテナ貨物・個数港別取扱量	20
外貿コンテナ個数主要国・地域別取扱量（上位 50 か国）	21
外貿コンテナ個数主要港別取扱量（上位 50 港）	22
外貿コンテナ個数主要航路別取扱量	23
外貿コンテナ貨物量・コンテナ化率主要航路別取扱量	24
外貿トランシップコンテナ個数取扱量	
外貿トランシップコンテナ貨物品種別取扱量（上位 10 品種）	
外貿トランシップコンテナ貨物主要相手国別取扱量	25
4 施設別取扱貨物量及びけい留状況	
施設別着岸隻数・けい留時間	26
けい留施設別取扱貨物量	27
外貿コンテナ貨物けい留施設別取扱量	29
コンテナ個数けい留施設別取扱量	30
5 主要品種及び主要国（港）別貨物量	
輸出貨物主要品種・主要国別取扱量（上位 10 品種）	31
輸入貨物主要品種・主要国別取扱量（上位 10 品種）	33
輸出貨物主要国・主要品種別取扱量（上位 10 か国）	35
輸入貨物主要国・主要品種別取扱量（上位 10 か国）	37
コンテナ輸出貨物主要国・主要品種別取扱量（上位 10 か国）	39
コンテナ輸入貨物主要国・主要品種別取扱量（上位 10 か国）	41
移出貨物主要品種・主要港別取扱量（上位 10 品種）	43
移入貨物主要品種・主要港別取扱量（上位 10 品種）	45
国内主要港比較	47
横浜港港湾区域図	48
外国航路名一覧表 主要国籍コード表	49